

## 富山県カワウ管理計画（第2期）の概要

### 1 背景及び目的

県内におけるカワウの生息状況の変遷については、1990年代からカワウの生息が確認（環境省自然環境保全基礎調査）されはじめ、その後、生息数の増加や生息域を拡大させ、現在では県内に6箇所のおねぐらと3箇所のコロニーが確認されている。また、採食地である河川においては、アユやサクラマス等の川魚が庄川や小矢部川、黒部川等で捕食される漁業被害が発生するなど、人との軋轢が高まっている。

このため、カワウの個体群管理を行い内水面漁業等の被害を軽減させ、人とカワウとの軋轢の解消を図ることを目的とする。

2 計画の期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

3 管理の区域 富山県全域

### 4 現状

- (1) 生息数 R2夏 493羽（平成21年夏以降減少傾向）
- (2) 捕獲数 毎年約400羽（毎年捕獲するも、愛知県等県外からの飛来がある）
- (3) 被害額 県下全体の正確な被害調査は未実施（漁協単位のみ）  
※県下の推計被害額は計7,525万円（市町村鳥獣被害防止計画より）
- (4) おねぐら等 6箇所のおねぐらと3箇所のコロニーが存在（R2年度）

### 5 管理の目標等

#### (1) 管理目標

自然条件下において、漁業等被害が問題化・顕在化しない状況へカワウ個体数を誘導

#### (2) 目標達成のための基本的な考え方

県と市町等との役割分担のもと、個体数管理や被害防除対策等を総合的に推進する。

### 6 鳥獣の数の調整に関する事項

#### (1) 個体数管理の目標

カワウによる漁業被害が見られ、新たなコロニーの形成も確認されているため、今後の動向に注視しながら計画的・効果的な個体数調整等を実施する。

- ・7月のカワウの総個体数450羽以下（平成21年7月の総個体数895羽の1/2以下）
- ・コロニー等の数を現状以下（令和2年のおねぐら数6カ所、コロニー数3カ所以下）

#### (2) 実施計画

現状の捕獲を維持するとともに、被害状況マップの作成やモニタリング、カワウ胃内容物等調査など専門調査を実施する。

## 7 その他管理のために必要な事項

### (1) 被害防除対策

カワウによる漁業被害の軽減を図るためには、効果的な捕獲と並行して、被害発生区域におけるテグス張り、追い払い等の効果的な被害防除対策に継続的に取り組む。

### (2) 河川環境の保全・整備

在来の天然魚を増やすことにより、漁業への直接的な影響を減少させていくため、河川改修等に当たっては、河川環境の現状と変遷及びその背景を踏まえ、その川にふさわしい生物群集と生息・生育環境が将来にわたって維持されるよう努める。

### (3) 広域的な連携

カワウは都道府県を越境して広域に移動する機会が多いことから、中部・近畿カワウ広域協議会（事務局：中部地方環境事務所）等を通じて、中部・近畿各府県と連携し、生息状況や取組状況等の情報の共有化を図る。

また、広域的な管理についても各府県と連携して取り組みを進める。

## 8 参 考

表1 県内カワウの生息数(夏)と捕獲数の推移 (単位：羽)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
生息数	540	657	683	633	628	620	493
捕獲数	449	657	423	456	374	414	371

表2 県内カワウのねぐらとコロニーの所在 (R2 年度) (単位：羽)

No	所在地	7月	12月	3月	備考
1	富山市横越サギの森	275	372	317	コロニー等
2	富山市三熊古洞池周辺	51	0	0	コロニー等
3	射水市七美貯木場	32	34	6	ねぐら
4	射水市庄川高新大橋上流	135	390	173	コロニー等
5	高岡市小矢部川左岸ゼオン橋付近	0	3	16	ねぐら
6	氷見市中央町唐島	0	11	352	ねぐら
計		493	810	864	

表3 年度別使用巣数の推移 (単位：個)

No	所在	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	富山市横越サギの森	57	41	34	28	39	74	119
2	富山市三熊古洞池周辺	116	102	129	106	103	66	68
3	射水市庄川高新大橋上流							38
	計	173	143	163	134	142	140	225